

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和6年3月1日

事業所名 つみき第9 保護者等数(児童数)24 回収数17 割合71%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	17				
	②	職員の配置数や専門性は適切である	17				・室内は段差などない。外階段の手すり設置が望ましい。建物管理者への交渉を検討
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	13	4			・外階段の手すりの設置は好ましい。建物管理者との交渉も検討する。
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	16	1			・都型放デイのフォーマットにも合わせ、今までよりも明確に本人と保護者のニーズを確認させていただく。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	17				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	7	2	・あまり必要を感じていません ・わからない ・どのようにどんな方法でかかわっていくのがよいか親としても一緒に考えていきたいです。	・ティーンズセンターの利用を検討する。 ・公園で接する機会があるので、関わりを持つ。 ・年に数回小学生と関わる機会を設けている。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	17				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	17				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	14	3		・コロナ明け、保護者会が開催できたのはよかったです	・今年度『保護者会』としてコロナ禍前に行なっていた活動報告会を開催。より多くの保護者の方に参加していただけるよう日程などを早めにお知らせする。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	15	2		・苦情を言ったことがないのでどのような対応をしているかはわかりません	・苦情の体制は整備されている。知っていただけるよう紹介する機会を設ける。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	17				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	17				
	⑭	個人情報に十分注意している	17				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	15	1			・ホームページでの周知を提案する。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	13	2			・利用児とともに災害想定訓練や避難所の確認などを行なっている。年度末の写真冊子でも紹介したが、さらに周知に努めていく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	17			・毎回とても楽しみにしています	・笑顔で楽しく過ごせるよう心がけていく。
	⑱	事業所の支援に満足している	17			・活動内容をいろいろ工夫していただきありがたいです。またとても丁寧にご支援いただき感謝してまいります。	・職員の励み、意欲になる。今後とも継続して満足していただけるよう、職員一同精進していく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和6年3月1日

事業所名 つみき第9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5				
	②	職員の配置数は適切である	5				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	1	4			・室内は段差などない。外階段の手すり設置が望ましい。建物管理者への交渉を検討する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	3	2			・事業所内全職員で行っている。意見があれば部会で出して、法人にあげていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2			・公開している。法人で行っていることを全職員が把握する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	1		・都型放デイになったので、2024年から開始される。 ・理事長巡回など第三者に見てもらう機会がある。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	1		・アセスメントツールはある。学校でのアセスメントを受けている方はその結果を参考にさせてもらっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4		1		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	5				
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4			・送迎時間と勤務時間の関係で終礼は難しい現状。振り返りや共有は行なっている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	5				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	3	2			・ガイドラインの総則は基本 事項。全職員がしっかり学 ぶ。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4	1			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	5				・学校の会議に出席し、学校 の予定などの確認を行なっ ている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	2	2			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	1		・情報共有の機会がない。 必要であれば連携を図る。 法人内の児童発達支援事 業とは連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	3	1	1		・求められたことがない。求 められれば提供は可能。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2	1	2		・対応が困難なお子さんに 関しての助言を受けることを 検討している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	2	2	1		・ティーンズセンターの利用 を検討する。 ・公園で接する機会はある ので、関わりを持つ。 ・年に数回小学生と関わる 機会を設けている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	4	1			・法人として参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	5				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている			4	1	・必要なケースがあれば検 討する。
	保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5			
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	5				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				
	③⑤	個人情報に十分注意している	5				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	2		・事業所の行事としては行なっていないが、浮間地区内での協議体に参加し、イベントに参加。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		1		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。